

# 営農情報(令和5年5月)

作成・監修 勝浦町農業振興推進班

## ■温州みかん

3月以降の気温は、平年より高く推移したため生育が進み、開花は早くなると予想されます。防除等の適期を逃さないよう栽培管理作業を計画しましょう。

### ◇樹の管理

- ・花器と新梢を充実させるため、チッソ主体(尿素)に6月まで葉面散布する。
- ・果実体質の強化対策として、一次生理落果期からカルシウム剤(カルタス)の散布を開始する。(カルタスはハーベストオイルとの混用を避けること。)

### ◇隔年交互結実栽培への移行

毎年の収量を平準化するには、結果樹面積の半分を交互結実樹に移行することが有効です。そのためには、結実させないように下記の摘果剤を利用して果実を落とし、残った果実は7月末までに手直して全摘果をする必要があります。

#### ・摘果剤「ターム水溶剤」使用基準

500～1000倍を一次生理落果期(満開後10～20日)に立木全面散布  
(効果を高めるため暖い日を選ぶ)

## ■かき

### ◇摘蕾

幼果期までの成長は貯蔵用分によってまかなわれるため、早い時点で養分の浪費を防ぐことが重要です。開花15～5日前が適期ですが、開花後でも効果はあるので、可能な限り行いましょう。

1新梢に1蕾残しが基準ですが、40cm以上の新梢は2蕾残し、結果母枝基部の弱い新梢は、すべて摘蕾して翌年の母枝として利用します。

## ■キウイフルーツ

### ◇摘蕾・受粉

摘蕾は、養分競合を防ぎ、果実の初期肥大を促進し大玉生産につながる作業です。正常な蕾を残し、同時に側花蕾も除去します。1㎡あたり30～40花蕾を目安に残します。中長果枝で3～4花蕾、短花枝で1～2花蕾が目安となります。

また、受精不良果は、小玉になりますので適期に受粉しましょう。

## 【5月の病害虫防除】

### かんきつ類

時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	収穫前日数	使用回数
開花期	訪花害虫	モスピラン(顆水)又は エクシレルSE	4000倍 5000倍	14日 前日	3回以内 〃
落弁期	灰色かび病 そうか病	フロンサイドSC又は ストロビー(ド)	2000倍 〃	30日 14日	1回 3回以内
5月下旬	カイガラムシ類幼虫	モベント(フ)又は アプロード(水)	2000倍 1000倍	7日 14日	3回以内 〃
	黒点病 そうか病 (スダチ除く)	デラン(フ)又は ナティーボ(フ)	1000倍 1500倍	30日 前日	3回以内 〃
	※かいよう病	ICボルドー66D	50倍	—	—

- ・灰色かび病は、落弁期に降雨が多いと多発する恐れがあるので必ず防除する。
- ・カイガラムシは発生予察情報に基づき適期散布する。
- ・モベント(フ)は、ミカンサビダニ、アザミウマ類、アブラムシ類、ミカンハダニ(密度抑制)にも有効。
- ・サンホーゼカイガラムシ防除は6月初旬に散布する。
- ・黒点病薬剤には、アビオン-Eを加用する。

※すだち等のかいよう病防除時は、ICボルドーにアプロードまたはスタークルを混用できる。

## かき

開花期	炭疽病、うどんこ病	ベルコート(水)	1000倍	14日	3回以内
-----	-----------	----------	-------	-----	------

## う め

5月上旬	黒星病、すす斑病	ファンタジスタ(顆)又はスコア(顆)	3000倍 〃	前日 〃	2回以内 3回 〃
5月下旬	ウメシロカイガラムシ	モスピラン(顆水)	2000倍	前日	3回 〃

## キウイフルーツ

5月下旬	クワシロカイガラムシ幼虫	アプロード(水)	1000倍	前日	2回以内
	果実軟腐症	ロブラール(水)	1000倍	前日	4回 〃

## ■水 稲

### ◇田植え前後の管理

- ・病虫害防除(箱処理剤の施用)  
田植7日前から当日までにビルダーリディア箱粒剤50g/箱 を施用する。
- ・除草剤の散布  
水稻栽培暦に記載された除草剤を散布適期に散布する。除草剤は田面が露出して乾燥してしまうと効果を失うため、散布後50日程度は、田面が乾かないように水管理に注意する。
- ・ジャンボタニシの対策  
ジャンボタニシは、田植え2～3週間後までに柔らかい葉が被害を受ける。その後は葉が硬くなり、深刻な被害は受けない。農薬による防除は、この時期にあわせて散布する。

## ■ナ ス

### ◇定植後の管理

- ・定植後は、すぐに仮支柱をたてて固定する。
- ・定植までの育苗期後半にアブラムシ、アザミウマ、ハダニ類の防除のため、モベント(フ)500倍を1株あたり50mlかん注する。
- ・定植後はかん水を兼ねて液肥を500倍以上に薄めて施用すると活着がよい。
- ・活着後のかん水は、やや抑え気味に行うことで根張りを良くする。
- ・第1花はトマトーン50倍液で処理し、確実に着花させる。
- ・成りぐせがつくまでは、花にトマトーン処理を行う。(目安としては6月末ごろまで)

## ■オクラ

### ◇播種前後の管理

- ・播種の目安は、最低地温が15℃になった頃。(マルチ栽培では、4月15日以降)
- ・種皮が硬く、吸水に時間がかかるため、播種前日より水に浸しておくとうえが揃いやすい。
- ・株間は20cm程度とし、1穴に4～5粒 播種する。
- ・土が乾燥していると発芽不良をおこすので、播種後も十分なかん水を行う。
- ・播種後、パオパオ等の不織布をかけてやると、保温や保湿の効果があり、生育が促進される。

## 【お知らせ】

### 【いきいきファーマーズで営農講座を受講してみませんか】

勝浦町いきいきファーマーズでは、毎月第3木曜日の午前中、農村環境改善センターで営農講座を開催しています。みかんの管理を主に、最新の情報など営農に役立つ講義をしています。10月には視察旅行も予定しています。

入会を希望される方は、営農講座当日または役場農業振興課にて受付しておりますのでよろしくお願いいたします(会費は年間1,000円になります)。

また、視察旅行は会員限定ですが、毎月の営農講座については、会員外でも参加可能です。直近の営農講座は、5月18日(木)9:30～11:30に行います。野菜と果樹の情報提供のほか、「4年産みかんの販売結果」「土着天敵の活用」「5年度農業振興対策事業(町単)の解説」等を予定しています。ご興味がありましたらご参加ください。

### <お問い合わせ先>

勝浦町農業振興推進班

勝浦町農業振興課42-1505 JA営農振興課088-538-7180 徳島農業支援センター088-626-8768